【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-514971(P2007-514971A)
【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)
【年通号数】公開・登録公報2007-021
【出願番号】特願2006-544387(P2006-544387)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｈ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｈ　1/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月6日(2007.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
出力装置に対する命令の形式でコンテンツを保持するように構成されている第１タイプのイベント（407）と、
マルチメディア・コンテンツの符号化サンプルを識別するアドレスを含む追加コンテンツ（410）を保持するように構成されている第２タイプのイベント（406）と
を含むマルチメディア信号（401; 409）、を提供する方法であって、
前記第１タイプのイベントに応答してマルチメディア出力を生成するステップと、
前記マルチメディア信号（401; 409）を解析（602）して、前記第２タイプのイベント(406）を識別するとともに、追加コンテンツ（410）を読み出すステップと、
前記アドレスによって識別されるマルチメディア・コンテンツ（402）の前記符号化サンプルをロードするステップ（607）と、
前記符号化サンプルを復号化（611）して、前記マルチメディア・コンテンツの再生のために復号化サンプルを提供するステップと、
前記第２タイプのイベントに関連付けられているタイミング情報に従って前記復号化サンプルを前記生成されたマルチメディア出力に重畳するステップ（609）と
を有し、
前記第２タイプのイベント（406）は、Musical Instrument Digital Interface (MIDI)仕様で定義された、cue-pointタイプ、lyricタイプ、textタイプから選択されるいずれかのタイプのメタ・イベントを含み、
前記アドレスは、前記マルチメディア信号に関連付けられている第１のファイル（402; 303）の位置を示す
ことを特徴とする方法。
【請求項２】
前記タイミング情報は、基準時刻に対する時間を定義するデルタタイム値を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第２タイプのイベントは、符号化サンプルを識別する１または２以上の予め定められたコマンドのテキスト情報を含むことを特徴とする請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】

前記重畳は、前記タイミング情報に基づいて前記復号化サンプルを前記マルチメディア出力と同期することを含むことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項５】
前記マルチメディア信号および前記符号化サンプルは、コンテナデータ項目に含まれることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の方法。
【請求項６】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 07によって識別される、cue-pointタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 05によって識別される、lyricタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 01によって識別される、textタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記マルチメディア信号は第２のファイル（302）に格納されることを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１０】
前記追加コンテンツは、前記符号化サンプルの符号化に使用される符号化方式のタイプの指示を含むことを特徴とする請求項１乃至９のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１１】
前記マルチメディア信号は、Musical Instrument Digital Interface（MIDI）通則に準拠することを特徴とする請求項１乃至１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１２】
前記装置に対する命令の形式でコンテンツを保持するように構成されている第１タイプのイベント（407）と、
マルチメディア・コンテンツの符号化サンプルを識別するアドレスを含む追加コンテンツを保持するように構成されている第２タイプのイベント（406）と
を含むマルチメディア信号（401; 409）、を提供する装置であって、
前記第１タイプのイベントに応答してマルチメディア出力を生成する再生ユニット（202）と、
前記第２タイプのイベント（406）を識別するとともに、前記追加コンテンツ（410）を読み取すパーザ（201）と、
前記アドレスによって識別されるマルチメディア・コンテンツの前記符号化サンプルをロードし、デコーダに、前記マルチメディア・コンテンツのその後の再生のために、復号化サンプルを復号させるインターフェイス（204）と、
前記復号化サンプルの再生を前記マルチメディア出力の生成と同期させる同期ユニット（210）と
を有し、
前記第２タイプのイベント（406）は、Musical Instrument Digital Interface（MIDI）仕様で定義された、cue-pointタイプ、lyricタイプ、textタイプから選択されるいずれかのタイプのメタ・イベントを含み、
前記アドレスは、前記マルチメディア信号に関連付けられている第１のファイル（402; 303）の位置を示す
ことを特徴とする装置。
【請求項１３】
前記マルチメディア信号は、Musical Instrument Digital Interface（MIDI）通則に準拠することを特徴とする請求項１２に記載の装置。
【請求項１４】

前記タイミング情報は、基準時刻に対する時間を定義するデルタタイム値を含むことを特徴とする請求項１２または１３に記載の装置。
【請求項１５】
前記第２タイプのイベントは、符号化サンプルを識別する１または２以上の予め定められたコマンドのテキスト情報を含むことを特徴とする請求項１２乃至１４のいずれか１項に記載の装置。
【請求項１６】
前記マルチメディア信号および前記符号化サンプルは、コンテナデータ項目に含まれることを特徴とする請求項１２乃至１５のいずれか１項に記載の装置。
【請求項１７】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 07によって識別される、cue-pointタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１２に記載の装置。
【請求項１８】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 05によって識別される、lyricタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１２に記載の装置。
【請求項１９】
前記第２タイプのイベント（406）は、16進数FF 01によって識別される、textタイプのメタ・イベントを含むことを特徴とする請求項１２に記載の装置。
【請求項２０】
前記マルチメディア信号は第２のファイル（302）に格納されることを特徴とする請求項１２乃至１９のいずれか１項に記載の装置。
【請求項２１】
前記追加コンテンツは、前記符号化サンプルの符号化に使用される符号化方式のタイプの指示を含むことを特徴とする請求項１２乃至２０のいずれか１項に記載の装置。
【請求項２２】
データ処理装置上で実行されたときに、請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム・コードを含むことを特徴とするコンピュータ・プログラム。